



12/7

## 全社協会長表彰を受賞!

### 北部地区社会福祉協議会

北部地区社会福祉協議会（若菜会長）が、平成27年度全国社会福祉協議会会長表彰（優良活動功労）の受賞報告に田中市長を訪れました。これは住民同士の支え合い・助け合いを目指し、取り組んでいる「萩の里たすけあいサービス」やサロン「萩の里」などの地域活動が認められたものです。

若菜会長は「この受賞を励みに、今後も地域に根ざした活動に努めたい」と喜びを語ってくれました。



▲左から中村さん、若菜会長、田中市長、鈴木副会長



▲田中市長に質問をする山崎さんと浅沼さん(右)

## 未来の自分のために

### 小学生が“こども職業体験”

12/24

5月5日開催予定の「こども職業体験in茂原 もばちやるい！」に先行して、山崎 実優さん（茂原小6年生）と、浅沼 快さん（茂原小4年生）が市役所を訪れ、「記者体験」として田中市長に取材を行いました。子どもたちは、ノートとペン、カメラを持ち、緊張した表情で「楽しかったことはなんですか?」「大変なことはなんですか?」などの質問をし、一生懸命にメモを取っていました。

1/8

## 選挙の意義と1票の重みを学ぶ

### 茂原市選挙出前講座（模擬投票）

茂原市選挙管理委員会および茂原市明るい選挙推進協議会は、茂原市として初めての事業となる選挙出前講座（模擬投票）を県立茂原高等学校で開きました。これは、今夏に選挙権年齢が、満18歳以上に引き下げられることから、新有権者に具体的かつ実践的な政治的教養を身に付けてもらうことを目的として実施されたものです。

出前講座後の模擬投票は、3人が立候補した想定で、実際の選挙に使用する機材を用いて行われました。生徒たちは、初めての体験に緊張した表情で1票を投じていました。



▲真剣に模擬投票する生徒たち



▲約1時間半の工程を体験しました

## 手作りのおいしさを実感

### 萩原小で豆腐作りに挑戦

1/15

市立萩原小学校の5年生が、県教育委員会の食育活動支援事業の一環として、県立茂原樟陽高等学校の生徒や食育ボランティアの指導により、豆腐作りに挑戦。

児童らは、昨年11月に樟陽高校の農場で収穫した大豆をミキサーですりつぶして煮るところから始め、見事な木綿豆腐を完成させました。「甘くておいしい」と、大豆本来の味や香りを体感し、満足げな表情でした。